

新本部長の杉谷 1 等空佐がラジオで意気込みを語る



自衛隊静岡地方協力本部長・杉谷康征 1 等空佐は 7 月 2 日（木）、エフエムしみず（静岡市）において、ラジオ番組「自衛 T-ME S ★静岡」の収録に臨み、初めての地本勤務への意気込みを語った。同番組は、毎週水曜日の午前 10 時から約 10 分間放送されており、自衛隊のさまざまな活動を紹介している。静岡県の印象を聞かれた杉谷本部長は、「15 年ほど前、浜松基地で勤務していました。静岡県は観光地も多く、海鮮などの食べ物がいっぱいという印象があります」と話し、笑顔で自己紹介した。

初めてとなる地方協力本部での勤務については「地本は部外の方々の繋がりが非常に大事な部署だと認識しています。地本長として、これまでの経験と持ち前の明るさをもって、しっかりと自衛隊の魅力を PR していきたい」と力を込めた。

最後に、自らの母校であり、現在願書を受け付け中の防衛大学校について「陸海空の幹部自衛官となる者を育成する機関で、専攻した科目の授業に加え、過去の戦史や戦略などを学び、各種訓練を行っています。また、クラブ活動も活発で、私は硬式野球部に所属していました。防衛大学校は文武両道で、自らを高めることができる場所だと思います」とその魅力を伝えた。

静岡地本は、今後もさまざまなメディアを通して自衛隊の活動や採用情報を発信し、県民への理解促進に繋げていく。

「国家を守る公務員」 自衛隊を 4 機関合同説明会で PR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征 1 等空佐）は、7 月 1 日（土）及び 1 2 日（日）、静岡市消防局において「4 機関合同採用説明会」を行った。

この説明会は、自衛隊をはじめ警察、消防、海上保安庁の公安系 4 機関が合同で開催。新型コロナウイルスで学生の就活に影響があったこと、4 機関の説明が一度に受けられるということもあり、高校生、大学生、転職検討中の社会人など、86 人が会場に集まった。

自衛隊ブースでは最初に、「国家を守る公務員」「あらゆる仕事がある職場」「女性にも広がるフィールド」「安定したワークライフバランス」「充実した福利厚生」をキーワードに、映像やトークなどで参加者に自衛隊の魅力を PR した。

その後、「ヘリパイロット」として海上自衛隊航空プログラム開発隊（厚木基地）所属の高木淳規 1 尉海尉、「自衛隊の警察」として陸上自衛隊第 1 28 地区警務隊（北富士駐屯地）所属の井上優生 3 等陸曹、「自衛隊の消防士」として航空自衛隊第 1 飛行教育団（静浜基地）所属の三浦魁斗 空士長が、それぞれの仕事内容や魅力、やりがいなどを熱く伝えた。

参加者からは「『国家を守る、公務員。それが、自衛官』という言葉に心を打たれた」「自衛隊の中にも警務や消防などの職種があることを知り、選択肢が広がった」などの感想が聞かれた。

静岡地本は、今後もこのような機会を活用し、防衛省・自衛隊の魅力をより多くの方に発信し、熱意ある志願者を獲得できるように努めていく。